

## 令和2年度 通学路合同点検・対策 一覧表

鳴沢小学校

【対策検討メンバー】 教育委員会、小学校、PTA、甲府河川国道事務所(令和2年度点検は該当箇所なしのため参加なし)、富士・東部建設事務所(令和2年度点検は該当箇所なしのため参加なし)、

富士吉田警察署、鳴沢村振興課、鳴沢村企画課、SGL

番号	路線名	箇所名・住所	対象児童数	通学路の状況・危険の内容	要望内容	検証結果	検証結果を受けての対応(令和2年11月時点)	事業主体	対策年度
1	村道215号線	総合センター南の交差点へ出る手前の歩道	70名	センター方面へスピードを出したまま曲がっていく車がある。左折するときに、右側を歩いている子どもたちが死角になり、大変危険である。	スピードが出たままカーブを曲がれないよう、ガードレール・ポール・歩道などを設置していただきたい。	歩道幅の見直し、(道が狭くなることで車が速度を落とす効果がある。)や、グリーンベルト、ポールの設置が効果的。	ポストコーンを設置(令和2年9月30日設置完了)	道路管理者	R02
2	村道I-1号線	安富歯科の前から横断歩道までの間	70名	センター利用の子が通るのに、除雪が遅れることがある。	小学生が登下校するまでに雪かきをしていただきたい。	除雪業者に通学路の除雪を優先してもらえるように要望する。また、通学路の除雪については、保護者の方々にも早めに通学路の雪かきについて対応してもらおう協力いただきたい。	除雪業者が少なく、降雪時間帯にもより確実な実行は約束できないが、登下校時に極力間に合うよう除雪業者へ依頼する。	学校 道路管理者	R02
3	村道94号線	国道沿いの歩道(歩道橋～旧つるしん三差路)	12名	見通しが悪く、国道から旧つるしんへ入る子どもと、国道へ出たい車がぶつかりそうになる。	一時停止線が国道側ギリギリにあるので、旧つるしんへ入る子どもに最接近するまで気づけない。通学路であることが認識できるもの、または、車止め用の杭を設置してほしい。一時停止を促すような標識の設置をしていただきたい。	道に沿って直進し、停止線を無視する車が多い。停止線があることが分かりやすいように「トマレ」と表示することで効果が見込まれる。	交通安全対策については、村内の必要箇所について優先順位を決め対応しています。該当箇所は、国道に接続する村道で運転者も徐行運転しており、既に注意喚起の意味を持つ停止線が引かれていることから、今以上の道路標示や看板設置は行いません。学校や家庭においても、交差点では一度止まって左右の安全確認を行うなど交通安全教育の強化をお願いします。村でも、広報紙・村内放送等で運転者・歩行者に対し交通安全啓発を行ってまいります。	-	-
4	村道Ⅱ-5号線	ローソンと吉野荘の交差点から南への道	11名	県外車や通勤者がスピードを出して危険である。また、旧七福から大田和西信号に向かって途中のV字の道で、左からの車の接近に気づきにくい。	(看板等の設置済) 分岐のところにカーブミラーがあるが、高い場所にあるので、子どもの姿が映らないので、下にもうひとつミラーがほしい。	該当カーブミラーが設置されている私有地の草を刈ったことにより、見通しやミラーの見やすさについては多少改善がされた。合流する道に一時停止の線と「トマレ」と表示することで急な侵入を防止する効果が見込まれる。また、登校時には東側を通過するように指導してもらうことにより接触の危険が低くなる。	PTAからの要望を受け、平成31年度にローソン南側のカーブ部分の道路擁壁に、減速を促すためのトラ柄減速表示板及び注意喚起の看板を2基設置し、歩行者の安全対策を行っております。また、登校時に東側を通過よう指導してもらうことで、該当箇所の危険は回避できるため、現状では歩行者対策のミラーや道路標示の対応は行いません。	学校	R02

番号	路線名	箇所名・住所	対象児童数	通学路の状況・危険の内容	要望内容	検証結果	検証結果を受けての対応(令和2年11月時点)	事業主体	対策年度
5	国道139号線   村道Ⅱ-5号線	ローソンと吉野 荘の交差点、国 道沿い。	11名	南側にはガードパイプが設置されて いるが、外れている箇所があり、危 険である。	結局はパイプより外を歩いてしまう。 現在は狭いので、ガードパイプの設 置をもう少し道路側にして、設置し直 してほしい。	前年度の要望に対するの回答の通 り、現状で基準に合わせた設置をし ているためこれ以上の改修は難し い。また、外れている箇所について は再度設置してもらうように連絡済。 ポールの内側を歩くよう指導してもら いたい。	外れているポストコーンを再設置済み	道路管理者	R02
6	村道775号線	ラッキーオート から吉陣方面・ 渡辺コンクリート・渡 辺林業までの間	12名	近くの業者に入出入りする一般の大型 トラックが、狭い道にも頻繁に通る危 険。	村の業者は、いつも最徐行してくれ ているが、一般の大型トラックはそう ではない。通学時間帯は最徐行して もらえるような標識等の設置をして いただきたい。	平成30年度に対応を依頼したこと により、村内事業者に関しては注意 して走行してくれている。 交通安全担当課で現場を確認して 「通学児童注意 徐行」など必要であ れば看板設置を検討。	場所が特定されておらず、広範囲に何枚も標識 を設置することは、土地所有者との交渉が必要 となることや費用の面から現実的ではないため、 標識等を設置することはできません。大型車両 が入り出す施設が特定されているようですの で、再度教育委員会より注意喚起を行います。	-	-
7	村道Ⅰ-1号線	火の見から御徳 屋までの道	7名	雨の日は、水たまりができ、車が通 るたびに子どもたちが水浸しにな る。	きれいに舗装し、通学路と分かるよ うグリーンベルトで識別してほしい。	村の幹線道は交通量も多く、危険で あるため、通学路として指定されて いない。必要な区間以外はなるべく 通らないよう指導してもらいたい。 舗装の劣化もそれほどひどくないた め、優先度は低い。	検証結果の通り。	-	-
8	林道茅つけ 大田和線	国道からマキノ フライス及び富 士山荘へ向かう 分岐	2名	① マキノフライスへ向かうダンブや 通勤者が多く通り、視界が悪いため 私有地の庭に入り込む形ですれ違う 車が通る。	① 子どもがいることに早めに気づい て、自宅前(渡辺啓二さん)の電柱に ミラーの設置、または、子ども飛び出 し注意の標識の設置をしていただ きたい。	以前の要望にもあったため、警察か ら牧野フライスへ対策するよう連絡 済。対象児童に限られていること や、私有地への侵入が危険というこ とであれば、まずは土地の所有者が 私有地に入り込まないような対策を 考えてほしい。そのうえで村として対 応が必要なことがあれば検討する。	検証結果の通り。	-	-
				② 富士山荘へ向かうY字路の視界 が悪い。	② 分岐のところへミラーの設置をし ていただきたい。	指摘箇所の周辺土地が造成がされ たことにより、見通が改善された。今 後の土地活用状況を見ながら対応 を検討する。	検証結果の通り。	-	-